

フォトニュース

風味豊かな新そばを堪能



猪名川町へようこそ!

◀12月4・5日、道の駅いながわで「新そばまつり」が開催されました。約7000人が来場し、新鮮野菜の奉仕市や手打そばを楽しむました。
また、伊丹健康福祉事務所による食育イベントも同時に開催され、地元野菜を使った料理の試食なども行われました。
毎年人気のふるまいそば雑炊・お餅もあったという間になくなり、香り豊かな新そばに心も体も温まりました。



▲町国際交流協会では、12月2日～同12日までの11日間、姉妹都市バララット市から、高校生2人を受け入れました。

期間中は、ホストファミリー宅に滞在し、町内の学校や施設を訪問。ウェルカムパーティ&国際交流パーティなどに参加し交流を深める一方、着物の着付けや書道、茶道など日本文化を体験しました。

ともしびの賞を受賞



◀11月16日、西山佐枝子さんが兵庫県ともしびの賞を受賞され、町長に受賞の報告をされました。これは、西山さんの永年にわたる地域住民へ絵画の普及や、町文化協会を立ちあげ、文化振興の基礎を構築するなど地域文化の向上に尽くされたことを評価された受賞となりました。

明治維新と猪名川の人々
幕末・維新期の猪名川町域では多田院御家人たちは新政府軍として従軍し、銀山役人も慌ただしい時を過ごしていました。秋山良之助の日記には世情不安な京・大坂などの様子が書きとめられています。
元治2(1865)年2月には上野村に強盗が入るなど奥川辺も不穏となってきます。この頃は地震や天候不順などもあり伝染病も流行りました。慶応4(1868)年1月3日鳥羽伏見の戦いで幕府軍は敗れ、將軍慶喜に捨てられた大坂城は同8日に炎上、その炎は川辺の村々からもはつきりと眺められたといえます。
同年2月に新政府「参与

いながわ 歴史ウォーク ⑨3



▲慶応4年2月 11か村天朝御料 または薩州預所望につき嘆願書 (栗野乃武文書)

御役所」あてに書かれた北部11か村連名の嘆願書があります。「何卒「天朝直々御料」に、「御預所」なら「薩州様」の御支配を」というものがうかがえ、徳川↓天朝、高槻藩↓薩摩藩と願ったところに新時代・新体制を理解する困難さが読み取れます。

地域見本市が開催されました



◀11月21日、総合公園・生涯学習センター・文化体育館で、阪神北地域見本市が開催されました。

本町と近隣4市(伊丹市・宝塚市・川西市・三田市)の団体による展示や特産品の試食コーナーなどが設けられ、各市町のPR・発表がありました。

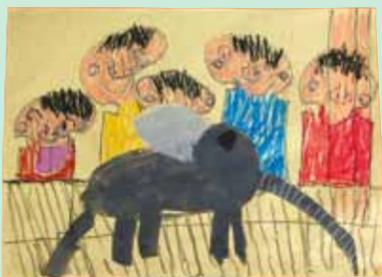
また、兵庫県くすのき賞、阪神北青少年本部長賞の受賞式も行われ、町内からは猪名川町公民館登録グループ連絡協議会・猪名川町男女共同参画グループいき生きライフ、猪名川美術協会の3団体と、個人の部では太田はるよさん、山内美之さんの2人が受賞されました。



人権についてみんなで考えよう!



◀12月4日、文化体育館で「人権を考える町民のつどい」を開催しました。人権啓発作品の表彰に続き、ルポライター西田英二さんによる「被差別部落の風景～現代日本の人権問題と向き合う～」の講演会が行われ、同和問題について、わかりやすく学ぶことができました。



▲ぞうさんをみたよ。ぞうさんって、こんなにおおきかったんだよ。

こやま 千里ちゃん(年少)



猪名川幼稚園



▲つりざおにスルメをつけて、みんなでザリガニをつったよ。

あきた 華歩ちゃん(年長)

◀うんどうかいのパラバルーン。みんなえがおでがんばったね!!

いのうえ わかなちゃん(年長)

▼おもほりでおおきなおもいがたくさんできてうれしかったよ。

ひろた つかくん(年少)

